

組合活動をPR！

ACTIVE KUMIAI

南アルプス特産品企業組合・ほたるみ館の齋藤さくの理事長は、去る7月19日に南アルプス市「桃源文化会館」で行われた、平成24年度全国山村振興連盟関東ブロック会議において、先進組合事例として講演を行った。

同会議は、全国山村振興連盟関東ブロック会議関係者（会員市町村長、担当職員、各都県山村振興担当職員）が一堂に会し行われ、会議には約80名が参加した。



講演会の様子

南アルプス特産品企業組合・ほたるみ館

講演の中で齋藤理事長は、まず組合設立の経緯について触れ、同組合の前身である「櫛形町生活改善研究会」が中心となり昭和60年から、農業改良普及センターの指導を受けながら農業振興への取り組みを開始したこと、また、地元で採れた農産物の中に農協等市場に出荷できないものがあり、これら二級品と言われる農産物を加工して特産品として販売する事業に着手したこと、平成10年に中山間地総合整備事業により農産物加工施設「ほたるみ館」が建設され当組合の活動拠点が確立し、その後、平成16年に任意組織から企業組合に組織変更された経緯などを説明した。

また、現在も引き続き、地元で採れた野菜や果物を使った加工販売事業をメインに活動を行っている他、毎週土曜日実施している朝市、体験教室、地元小中学校給食への食材の提供、各種イベントへ出店しての組合のPR活動の実施、更には、「まちの駅・くしがた」の運営を通しての販路拡大など、日頃活発に行っている組合事業などについても説明した。



齋藤さくの理事長

また、こうした様々取り組みは各方面から高い評価を得ており、平成14年には、県農業まつり・むらづくり部門で山梨県知事表彰、平成15年には、豊かなむらづくり優良集団として農林水産大臣賞、平成22年には、地域活性化貢献の意識改革にもつながっていると話した。

組合HP <http://www.hotarumikan.com/>